

米づくりがはじまると、どうして争いがおこったのだろう。

① あらそいのようなすを見て、気付いたことを4つ。

- 武器を使い、よろいを着ている
- やぐらで見張っている人がいる
- やぐらの上から弓や矢をはなっている人がいる
- さくやむらを守るためのしかけがある。

②米作りが広がったことによって、起こるようになった争いの原因

米作りに適した土地や水、たくわえた米などをめぐって。

③争いに勝っていったむらの「かしら」は、どのように成長していったか。2行で書きましょう。

ほかのむらを支配する豪族へと成長し、さらに、まわりの豪族を従えて、

むらより大きなくにをつくる王があらわれた。

④佐賀県「吉野ヶ里遺跡」からわかることについて。3行でまとめる。

吉野ヶ里遺跡は、くにの王が住んだ集落のあとと考えられている。遺跡からは、人骨に刺さった矢じり

などから、戦いがあったことがわかる。やぐらや深いほり、さくなどは、集落を

守るために設けられたと考えられている。

⑤「邪馬台国と卑弥呼」について。

•「邪馬台国」はどのようなくにか⇒倭（日本）でいちばん勢いの強いくにで30ほどのくにを従えている。

•「卑弥呼」はどのような人物か⇒邪馬台国の女王で、くにぐにが相談をして倭の王にたてると争いが終わって平和になった。神のお告げを伝えて、人々の心をとらえ、

⑥何の写真か。何のために使われたか。

写真（銅たく）

何のために使われたか ⇒祭りのときにかざったり、鳴らしたりするため。